



言葉があるから...

企画意図

—無自覚の差別「マイクロアグレッション」—

「人種」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。しかしながら、普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、家族や友人、同僚などの近く親しい関係性においては、相手を一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。

あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション（小さな攻撃性）」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの監視や偏見が隠れていることがあります。

自覚なく加害者にならないために……。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人種」について話し合おうきっかけとしてお役立てください。



これってほめ言葉？
モヤモヤするのは私だけ？
〜無自覚の差別
「マイクロアグレッション」について考えてみよう

無料
申込不要



2023.11.13(月)

15:30～17:00 (内上映時間30分)

横浜キャンパス3号館206教室

企画:人間科学部荻野ゼミ2年

対象:神奈川大学の学生・教職員

日常生活における人と関わりのなかで、モヤモヤすることはありませんか？意図せず相手を差別してしまったり、傷つけてしまうことをマイクロアグレッションと言います。今回は、そんな無自覚の差別に関する短編映画を見て、学生主導でディスカッションを行います。最後に、本企画を主催しているダイバーシティ推進室と、ジェンダー・セクシュアリティをはじめダイバーシティに関心がある学生・教職員誰もが利用できるコミュニティスペースをご案内します。興味のある人はぜひ気軽にお越しください！

主催・お問い合わせ:ダイバーシティ推進室

E-mail diversity-info@kanagawa-u.ac.jp